先端ビジネスロー国際卓越大学院プログラム
The World-leading Innovative Graduate Study: Advanced Business Law Program

名前	小野田 志穂（Onoda Shiho）
地位	特任助教（2020年4月～2023年3月）
研究分野	経済法：景品表示法

主な経歴・学位等

2006年	東京大学法学部卒業（学士）
2006年～2020年	公正取引委員会事務総局勤務

最近の主要業績

判評	小野田志穂「措置命令を履行する権限の有無から表示主体性を判断した事例ーアマゾンジャパン景表法事件」ジュリスト1559号（2021年）6ー7頁
論文	小野田志穂「誰が不当な二重価格表示をしたかが争われた事例ーアマゾンジャパン事件ー」東京大学ビジネスロー・ワーキングペーパー・シリーズ　No.2021-J-01（2021年） 小野田志穂「アフィリエイト広告に関する諸外国の規制と対応」NBL1215号（2022年）12-20頁 小野田志穂「消費者による推奨に関する米国の表示政策」公正取引859号（2022年）36-42頁 小野田志穂「事業者の創業年に係る表示と景品表示法：不正競争防止法に係る八ッ橋事件を題材として」知的財産法政策学研究63号（2022年）67-92頁 小野田志穂「不当な二重価格表示の規制手法の多様化に向けた課題――英国の法令・ガイドラインとの比較を通じて――」ソフトロー研究33号（2023年）1-68頁 小野田志穂「米国及びカナダにおける不当な二重価格表示規制事例について」公正取引887号（2024年）30-36頁
成果	2021年11月26日　消費者庁『アフィリエイト広告等に関する検討会』第5回において、「諸外国のアフェリエイト広告規制」について報告。 2021年8月23日　パブリック・ドメイン研究会報告

連絡先	